2024年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科 コンサート舞台コース											
コンサートプロダクト3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	田城佳子			実務 経験	無	職種					
授業概要											
＜コンサート舞台コース＞CADソフトを使用しての舞台図面作成や舞台進行などを習得します。											
到達目標											
スキルアップを図るため外部のコンサート会場を使用した本番実習を行う。各セクション、出演者サイド、会場スタッフとのコミュニケーションの精度を上げ搬入から本番・撤収までを安全に終える事を目標とする。自ら考えて行動しエンタテインメント業界で即戦力として活躍できる人材となる事を目標とする。											
授業方法											
コンサート舞台スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。舞台スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セクションとの連携を通じてコミュニケーション能力を養います。											
成績評価方法											
＊積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。＊本番実習での協調性、臨機応変さにて評価する。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。											
教科書教材											
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	1年次の復習①：山台、ライザー作製、各セクションの仕事内容を復習することができる。										
第2回	1年次の復習②：Drセットの組み方、GtAmp、BaAmpのセッティング、電源の引き方を復習することができる。										
第3回	サマーライブに向けて図面確認舞台機構を理解する。										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
コンサート・イベント科 コンサート舞台コース	
コンサートプロダクト3	
第4回	サマーライブに向けて道具プラン思案・道具帳作成・特殊効果思案、舞台セット図を思案、特殊効果の種類を理解することができる。
第5回	サマーライブに向けて（道具プラン検証）：道具のサイズ、重量計算を理解することができる。
第6回	サマーライブに向けて（ホール下見、質問事項思案）：ホール下見時に、何を確認するべきかを理解し、会場サイドに確認することができる。
第7回	サマーライブに向けて（タイムテーブル、進行表作成）：アーティスト資料をもとにタイムテーブル、進行表の作成ができる。
第8回	サマーライブに向けて（立ち位置図面、楽器セッティング図作成）：アーティスト資料をもとに立ち位置図面、楽器セッティング図の作成ができる。
第9回	サマーライブに向けて（プロダクションミーティング）：作成資料の説明、質問事項を考え、プロダクションサイドに確認することができる。
第10回	サマーライブに向けて（楽器転換思案）：各バンドのセッティング図をもとに、スムーズに転換ができるよう、流れを理解することができる。
第11回	サマーライブに向けて（仕込練習・転換練習・テクリハ）：実際に校内にて仕込、転換、テクリハを行い、問題点を検証することができる。
第12回	サマーライブに向けて（積み込み準備）：仕込段取りを踏まえ、積み込み手順を考えることができる。
第13回	サマーライブ仕込：仕込段取りを理解し、各コース安全に搬入から仕込を終えることができる。
第14回	サマーライブ本番：タイムテーブルに沿って、リハーサルから本番・撤収まで、安全に終わることができる。
第15回	サマーライブ反省会：本番を終えての振り返り。問題点を出し合い、次回のイベントに向けて解決方法を考える。